

今後の緩和ケアの方向性

非がん、ACP、家族・遺族へのケアなど
新たに求められていくこと

講師：加藤 雅志 先生

国立がん研究センターがん対策情報センター がん医療支援部長

日時：平成31年1月25日（金）18:30～20:00

場所：信州大学医学部附属病院 外来棟4階 大会議室

対象：医療関係者

参加
無料

申込
不要

- * 車でお越しの際は病院駐車場をご利用ください。駐車場利用料200円をご負担いただきます。
- * 日本医師会生涯教育講座単位、日本緩和医療薬学会「緩和薬物療法認定薬剤師」単位申請中。単位を希望される方は当日お配りする申請用紙にご記入ください。（医師の方は医籍番号が必要です）

講師紹介

1999年慶應義塾大学医学部卒。精神科、内科、ホスピスなどの勤務を経て、2006年より厚生労働省がん対策推進室に勤務。がん対策基本法の成立、がん対策推進基本計画の策定等に関わる。
2009年より国立がん研究センターに勤務。緩和ケアなど、がん対策を推進するための提言を現場から行うとともに、精神腫瘍科の臨床にも取り組んでいる。
2012年より、がん患者の家族や遺族を対象とした専門外来である「家族ケア外来」を開始している。

◆専門分野

- ・精神腫瘍学
- ・がん対策

◆資格

- ・日本精神神経学会 専門医
- ・日本総合病院精神医学会 専門医
- ・日本サイコオンコロジー学会 理事
- ・日本緩和医療学会 理事

